

素材を素材として使い尽くす

Testing The Limits Of Materials

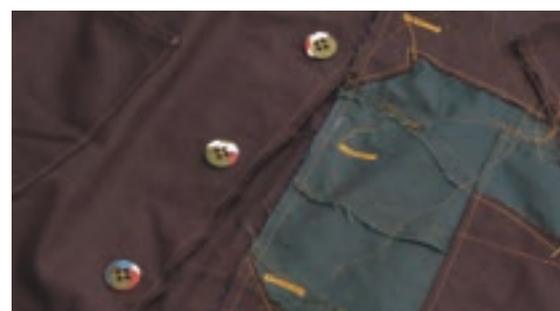
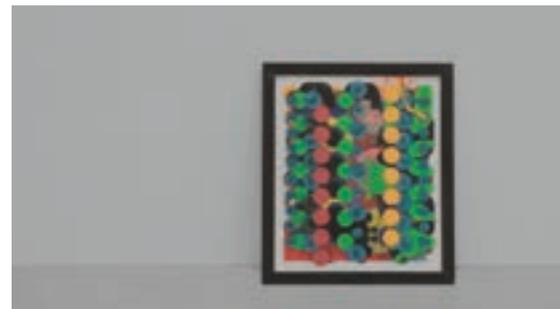
鈴木 理朗

素材を修理してまた使う

素材を1枚の板と見た時、材料として使われた部分と使われずに残った部分、どちらが素材の本体であると言えるのか。1枚の素材から、使われることで穴があいた部分に補填を行い、また一つの素材として再生させる。それを繰り返すことで材料としても、一つのグラフィックとしても装飾が施されていく。

Repair Materials And Use Them Again

When we cut a material, can the part that remains unused still be considered 'material'? By retrieving these unused pieces and filling the knicks left over, this material can be reused. By repeating this process, the material can be repurposed as a graphical decoration.



アクリル板をレーザーカッターで切り出した部分に、アクリル絵の具で着色した樹脂を流し込んで補填を行った。それにより誕生した新たな素材を用いて、平面的で小さいプロダクトとしてボタンを制作した。

布生地ではハサミで切り出した部分に布の端切れなどで当て布をして補填を行った。端切れのアウトラインをステッチで追って縫うことで端切れの形が表地にも現れる。